



H 2 2 年 3 月 1 7 日

さ く し ん

下氷鉦小学校

(校長室だより 2 1)

校長 大内 徹

平成 2 2 年度本校の最終日を迎えました。登校日数にして 2 0 9 日でしたが、子ども達も元気に登校しました。今年度の皆勤は 253 (197) 名、精勤は 308 (323) 名でした。() 内の数字は昨年度のものですが、インフルエンザによる出席停止は欠席扱いにならないことを考慮に入れても、前年並の誇るべき数字です。2 0 1 日という学校での日々は一見すると、同じ事の繰り返しのようには感じますが、子ども達にとっては、一日たりとて同じ日はなかったと思います。毎日毎日の繰り返しや積み上げの中で大きく成長してきているに違いありません。

二月のある寒い朝のことでした。校門前の横断歩道に立つ私の前を子ども達が通り過ぎて行きました。明るく元気に挨拶ができる子もいれば、聞こえるか聞こえないかの声で挨拶をしていく子もおります。全くできない子もおります。声をかけてもただ黙って通り過ぎていく子には、「おはよう」の一声くらい発せられないものかなという残念な思いもあります。「おはよう」と声をかけても黙って通り過ぎていく子には、「今朝もだめか... どうしてもできないのかなあ...」という残念な思いの中で、自分自身のあり方や子どもへの対し方はどうあったらよいのかと自分に問うこともあります。しかし、その朝はいつもとは違いました。あいさつが苦手な 5 年生の K 君が近づいて来ました。私が「おはよう」と声をかけると、ニコッとした笑顔と「おはよう」の嬉しい一言が返ってくるではありませんか。挨拶ができない子かな... と思い込んでいた私は大変幸せな気持ちになりました。それと同時に、そう思い込みかけていた私自身を恥ずかしく思いました。その朝の K 君の顔にはとても明るく素直な表情がありました。「僕はもうすぐ 6 年になるんだ。今までの僕とは違うよ」と私に訴えているかのようにも感じました。私はさっそく K 君の担任にそのことを伝えました。担任の先生もきっと教室で K 君を褒めて下さったに違いありません。私は翌日を楽しみに待ちました。「K 君は明日も挨拶ができるかなあ？ 大丈夫かなあ？ いや、できるさ。」 自分の中で期待が広がっていきました。翌朝も K 君から「おはようございます」の挨拶が返ってきました。二三日経って、K 君が休み時間に校長室に入ってきました。汚れたサッカーボールを抱えて入り口に立っている K 君に、「どうした？」と声をかけると、「ごめんなさい。今朝は友達と話をしていた『おはよう』を言えませんでした。ごめんなさい」と謝るので、可愛い姿です。そんなことで謝らなくてもいいのに... きっと私も横断中の子どもに気をとられていて気づかなかったのだろうか... と思いましたが、わざわざ校長室にやってきて「ごめんなさい」と言う K 君の姿から、朝のあいさつを意識し始めた K 君の心の成長に気づかされました。以来、K 君がきちんと朝の挨拶ができることは言うまでもありません。何気ない朝のあいさつに関わるエピソードではありますが、このことから子どもの大きな成長を感じとれるのであります。全校児童 7 0 1 名の下氷鉦小学校であります。701 通りの成長の足跡があったことでしょうか。昨日は通知表をお渡し致しました。お子様とこの一年間を振り返りながら成長点を確かめ、次年度に向けての課題を探り、四月からの生活に新たな決意と願いを持たせていただければ幸いです。

さて、2・17(水)には児童総会がありました。この総会で私が一番に感じたことは、自分から進んで全校の前で意見を発表する児童が多かったことです。また、単に質問や要望ばかりでなく、今年度の委員会活動のよさに触れて、認めたり感謝したりする意見がとても多かったこと

です。思いやりや温かな心の広がりを感じた児童総会でした。また、4日(木)には六年生を送る会が行われました。5年生の新役員が中心となり企画したものでしたが、新たなアイデアや工夫に満ちた思い出に残る会となりました。更に、19日(金)には、6年生の発案で私たち職員への謝恩式が催されました。20分くらいの短い時間でありましたが、市合同音楽会で発表した「信じる」の響きある素晴らしい合唱を再び聞くことができ感動でありました。私たち学校職員は、教育公務員としての職務の全うに務めているだけで、決して恩着せがましい気持ちで務めているわけではございません。努めても努めても不十分さが残る故に、私個人としては照れや気恥ずかしさをも感じましたが、謝恩式での言葉がけや発表、そのための準備に、子ども達の温かな心を感じ感謝しております。何気なく用いている「恩」という語を辞書で引いてみると、「(君主・親などの)めぐみ。いつくし」とあります。私自身これまでの人生を振り返ると、いただけてきた恩は数えきれません。自分自身の知らないところでいただいている恩も数限りなくあることと思います。卒業生に限らず、広く人々が現在ある自分が受けいただいている恵や慈しみに思いを致すことは大切なことであり、意義あることであると改めて思いました。

本校の教育活動は様々な方々に支えられております。先日 日にはPTA三役、各委員会長の引き継ぎが行われました。小山孝幸PTA会長様をはじめ、三役、実行委員、委員の皆様には大変ご尽力をいただきました。PTAの役員の仕事は、経験してみないとそれがどれだけ大変なことなのか分かりません。夜の会合故に、ご家族にも負担を強いている面もあるかと拝察致しております。そのようなことを承知でお引き受け下さって一年間ご苦労いただいているのであります。心より感謝申し上げます。新たに役に就かれた皆様には大変ご苦労様ですが、何とぞ宜しくお願い申し上げます。PTA全会員で協力すべきはしっかりと協力して、新年度のPTA活動を盛り立て、温かく支えていただきたくお願い申し上げます。

舎内を歩いていると、南校舎東階段の壁に6年生のつくった詩が掲示されておりました。どれもその子らしさがにじみ出ており素晴らしいのですが、その中からTさんの作品を紹介します。

元気なボールは ドーンとはずむ	ふつうのボールは ポーンとはずむ
元気のないボールはボスとしてははずまない	でも元気になれば ドーンとはずむ
元気になれば ポーンとはずむ	

本日、本校を巣立つ卒業生が中学校でも心身ともに元気に健康に弾んでほしいと願っております。また、四月からは新たな学校生活が始まります。春休み中、交通事故等に十二分に注意して安全な日々を過ごせるようご家庭でも心配りやご指導をお願いします。

最後になりましたが、本年度末の人事異動に伴い本校を転出される9名の先生方を紹介致します。年数こそ違いますが、どの先生にも大変ご尽力いただきました。ありがとうございました。

小林 昭寛先生(教頭)	南佐久郡 北牧小学校へ
島田 和政先生(道組担任)	長野市立綿内小学校へ
小林 操 先生(敏組担任)	長野市立古里小学校へ
柳澤満里子先生(行組担任)	川中島小学校へ
飯島 明子先生(温組担任)	諏訪養護学校へ
濱 佳子 先生(徳組担任)	青木島小学校へ
鈴木 誠一先生(理科専科)	諏訪郡落合小学校へ
武井 敦子先生(学習習慣形成)	ご退職
橋詰智栄子先生(事務)	通明小学校へ

